
九州運輸局メールマガジン 平成28年3月10日 第327号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

次回発行日は平成28年3月24日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・SUNQパス運営委員会に感謝状を授与～発行10周年で、九州観光の発展に大きく寄与～
- ・不慮の事故に備えて～平成27年度車両火災事故対応訓練が実施されました～
- ・（公社）福岡県トラック協会主催の緊急物資輸送等訓練に参加しました
- ・内航船への再就職を～海上自衛隊で海事セミナー・就職面接会を開催！～
- ・マイナス25度の世界と旅客船の魅力を体感～小学校の先生に海事施設見学会を開催！～

2 お知らせ

- ・「日 ASEAN クルーズ振興シンポジウム」を福岡市で開催します！～申込み締め切りは、明日3月11日（金）まで～
- ・自動車の手続きはお早めに！

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

◆SUNQパス運営委員会に感謝状を授与

～発行10周年で、九州観光の発展に大きく寄与～

平成28年2月24日西鉄グランドホテルにおいて、SUNQパス（サンキューパス）全九州版が本年4月に10周年を迎えるにあたり、九州域内の円滑な移動を実現し日本国内外の旅行者に広く利用され交通の利便性向上及び九州観光の発展に大きく寄与された功績に対し、SUNQパス運営委員会へ九州運輸局長から感謝状が授与されました。

（委員名簿については、記事最下部リンクからご覧ください。）

SUNQパスとは、下関の一部を含む九州内の殆ど的高速バス、路線バス（一部航路を含む）に乗車（船）できる乗り放題乗車券です。券種は3種類販売しております。

また、SUNQパス運営委員会においては、10周年を機に、国内外の観光客にさらに利用しやすいように、販売ルート拡大、南九州版の新規販売などの検討を進めております。今後の情報発信を楽しみにお待ちしております。

- ・SUNQパス「北部九州＋下関」3日間 8,000円

福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・下関の高速バス・路線バス・船舶（3航路）の

3日間乗り放題

- ・SUNQパス「全九州+下関」3日間 10,000円
全九州・下関の高速バス・路線バス・船舶（4航路）の3日間乗り放題
- ・SUNQパス「全九州+下関」4日間 14,000円
全九州・下関の高速バス・路線バス・船舶（4航路）の4日間乗り放題

詳しくはウェブサイトをご確認願います。

SUNQパス ウェブサイト：<http://www.sunqpass.jp/>

記念撮影写真及びSUNQパス加盟49社局名は次のURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_327_1.pdf

（自動車交通部 旅客第一課）

◆不慮の事故に備えて

～平成27年度車両火災事故対応訓練が実施されました～

2月26日（金）、九州産交バス株式会社西部車庫において、一般社団法人熊本県バス協会主催の「平成27年度車両火災事故対応訓練」が実施されました。

本訓練は、全国で昨年末から2月8日までに6件の事業用バスの火災事故が発生していること、また1月15日（金）深夜、長野県軽井沢町の国道18号線にてスキーバスが対向車線をはみ出し崖下に転落、15名が死亡、26名が負傷するという痛ましい事故が発生したこと等を踏まえ、協会加入事業者を対象として車両火災発生等の緊急時における運転者や運行事業者の取るべき対応の習熟を目的に座学と実地訓練の2部構成で実施されたものであり、69事業者の参加がありました。

まず、座学として、公益社団法人日本バス協会が策定している「車両火災発生等緊急時における統一对応マニュアル」が映像化されたものを視聴しました。

続いて、実地訓練として、積雪によりスリップしたバス車両が3メートル下の崖下に転落し、負傷者が多数発生するとともに、車両は大破しており火災発生のおそれがあるという想定で、熊本市消防局西消防署及び熊本県警察熊本南警察署の全面協力のもと、実際にバス車両を使用した訓練が行われました。

なお、実地訓練に使用したバス車両については、車体を縦方向に切断しており、運転者と旅客の行動が外からでも確認できるようになっていたことから、運転者の初期対応、救急隊員による旅客の救出や車両火災への対応（消火作業）等、非常に臨場感溢れる訓練となり、事業者のみならず訓練参加者の安全への認識を高める良い機会になったものと思います。

最後に、熊本運輸支局としましても、本訓練で得た経験を今後の業務に反映できるよう取り組んでいきたいと思っております。

訓練の様子は次のURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_327_2.pdf

（熊本運輸支局）

◆（公社）福岡県トラック協会主催の緊急物資輸送等訓練に参加しました

2月28日（日）筑豊救援物資輸送センターにおいて、（公社）福岡県トラック協

会、支部協会員、その他関係機関、地域住民の総勢123名が参加し、大規模地震による被災を想定した緊急救援物資輸送等の訓練が実施されました。

平成25年8月に完成した同センターで2回目となるこの訓練は、救援物資輸送のほか、避難所の開設・避難誘導、消火訓練といった災害救援拠点としての役割を担う同センターの活動を円滑に実施することを目的とするものです。

澄み渡る晴天の下、編成された10両の緊急物資輸送車両と運転手がセンター前の駐車場に整列し、緊張した面持ちで救援物資を積み込み、命令を受けて出発する姿に参加者からは感嘆の声も聞かれました。

また、小さな子供を連れて参加している住民の方々も多数おり、小さな頃から災害への意識を高めようとする住民の方々の思いが強く感じられる訓練となりました。

当日は2月とは思えないような穏やかな気候ではありましたが、過酷な災害状況を想定した訓練内容から、高い緊張感の中で訓練は機敏に行われ、災害への備えについて一層身が引き締まる貴重な一日となりました。

訓練の様子は次のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_327_6.pdf

(福岡運輸支局)

◆内航船への再就職を

～海上自衛隊で海事セミナー・就職面接会を開催！～

内航海運業界では、海運の安定的な輸送確保の観点から人的基盤である船員確保・育成対策は喫緊の課題となっているところですが、内航船員の高齢化により後継者不足が顕在化しつつあり、休業や廃業を余儀なくされ憂慮すべき事態となっています。

また、自衛官の身分は、定年制と任期制とに分かれており、定年制自衛官は、幹部・准尉・曹の自衛官で、定年は階級により53歳～56歳となっています。任期制自衛官は、海上自衛官の場合、1任期が3年間で2任期以降2年間となっており、最長でも4任期までで、若い人は27歳で退官することがあります。

この退官する海上自衛官の円滑な再就職を図る観点と内航船員の確保・育成対策として、佐世保市にある海上自衛隊佐世保教育隊において、再就職の準備段階で疑問や不安に思うことや、船員の資格や内航海運の制度等を説明する「海事セミナー」と、内航海運事業者と退職を間近に控え再就職を検討している海上自衛官との間で、お互いに直接話をする合同の「企業面接会」を開催しました。

・開催日：平成28年3月1日（火）08：30～16：00

・参加自衛官：68人

・参加企業：18社

佐世保市でのこの取組は、平成21年度から実施しており今回で7回目となり、海上自衛隊によると全国でも佐世保と広島県呉市の2ヶ所で行っているとのこと。

「海事セミナー」では九州運輸局職員が講師となり、内航海運業の仕組みや内航船員の船内環境、海技資格取得の際の海技免許講習の制度改正などを説明しましたが、参加した自衛官の中には、これらの仕組みを初めて耳にする方も多かったよう

で、現在勤務している艦艇の環境とは違う点、また、今後の求職活動での重要な点など、具体的な説明を受けながら内航海運を身近に感じて頂く良い機会となったと考えています。

参加された企業の方々も自社PRを積極的に行っており、ある企業からは「自衛官OBが5名ほど入社している。1隻の船を自衛官OBだけで運航してみたい」「継続的に自衛官OBを採用し、5年目の自衛官がやっと一人前になった」といった話がありました。自衛官の経験や海技資格などを踏まえながら即戦力になり得る船員確保に向けて強い意欲が感じられました。

また、海上自衛隊の内部でも4級海技士取得に向けた取組を進めており、従前に比べ免状取得の環境整備を充実させているとの話を聞くことができました。これまでも毎年数名ずつではありますが、自衛官OBが内航海運業界へ再就職しており、海上自衛隊の取組により、さらにその数が増えていくものと期待されます。

九州運輸局では、今後も求人・求職の両面から雇用の開拓拡大を図り、内航海運業界の人材確保に努めていくこととします。

セミナーや面接会の模様は次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_327_4.pdf

(海事振興部船員労政課、佐世保海事事務所)

◆マイナス25度の世界と旅客船の魅力を体感

～小学校の先生に海事施設見学会を開催～

鹿児島運輸支局では、今回はじめて鹿児島市立小学校社会科担当の先生方9名を対象とした海事施設見学会を、マルハニチロ物流(株)、マルエーフェリー(株)の協力を得て実施しました。

初めに同支局職員から「海事産業における次世代人材育成事業の重要性」について説明を行い、次にマルハニチロ物流(株)の冷蔵倉庫担当者から冷蔵倉庫の概要、保管貨物等の説明を受けた後、マイナス25度の世界を体験していただきました。担当者から、「養殖まぐろのえさを保管しています」との言葉に「賞味期限は?」「保管期限は?」等の質問があり、普段なかなか目にすることのない世界に関心をもっておられました。

旅客船見学では、鹿児島谷山港～鹿児島新港間を移動する「フェリーあけぼの」に乗船し、短い時間ではありましたが航海を体験していただきました。

出航前に同支局職員から「九州及び鹿児島県における海上輸送の役割と現況」の説明の後、フェリー運航会社が乗客へのおもてなしとして実施している有名な「花毛布」を実際に折る体験や、非常脱出の際に使用する救命胴衣の着用体験の後、客室の見学やブリッジにて航海機器の説明を受けました。担当者の説明に、航海中の「当直は何交代制で行っているのか」と鋭い質問もあり、船員の仕事にも関心を持っておられました。

鹿児島新港へ入港する際は、船長の迅速、的確な指示により各船員が機敏に動き、またその正確な入港作業に感心しておられました。

参加された先生方からは、「これからの授業で取り上げる機会が増えそうだ」との意見や「小学校に出前講座をしてほしい」との要望がありました。

海事産業を教育の場で広く取り上げてもらうには、先生方に海の仕事の魅力や重要性を認識していただくことが大変重要だと考えています。

当支局では、今後も先生方への見学会を実施し、授業を通じてより多くの子供達に海事産業について興味をもってもらい、一人でも多くの子供達に将来、職業として海事産業を選択していただきたいと思います。

今回、見学会にご協力を頂いた、関係者の皆様方に深く感謝を申し上げます。

見学会の様子は次のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_327_5.pdf

(鹿児島運輸支局)

2 お知らせ

◆「日 ASEAN クルーズ振興シンポジウム」を福岡市で開催します！

～申込み締め切りは明日3月11日（金）まで～

国土交通省では、3月23日に、福岡市にて「日 ASEAN クルーズ振興シンポジウム」を以下のとおり開催いたします。本シンポジウムでは、日本と ASEAN 地域におけるクルーズ市場の動向や両地域をつなぐクルーズのモデルルートの紹介を通じて、広く一般の方にクルーズの魅力を発信することにより、クルーズを通じた両地域間の交流拡大を目指します。

シンポジウムの詳細や申込書等は次のURLをご覧ください。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2016-0218-kaijisinkoubu.pdf>

なお、基調講演は同時通訳にてお聴きなれます。

【日 ASEAN クルーズ振興シンポジウム（概要）】

1. 日時：3月23日（水）14:00～17:20

2. 場所：ハイアットリージェンシー福岡（福岡市）

3. 基調講演：※演題はURLからご覧ください。講演者は次の方々です。

「池田良穂・大阪府立大学 21 世紀科学研究機構 特認教授」

「デビッド・ゴー クルーズライン国際協会（GLIA）アジア事務局長」

「ハーモニー・ラム 国連世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センター 事業・広報部課長」

「奥川雄士・国土交通省海事局外航課外航海運事業調整官」

4. パネルディスカッション：「クルーズを通じた日本と ASEAN との間の交流拡大に向けて」

※コーディネーターは池田大阪府立大学 特認教授、パネラーは次の方々です。

「上田寿美子・クルーズ評論家・クルーズライター」

「木島榮子・株式会社クルーズ パッケージング 代表取締役社長」

「南里隆幸・福岡市港湾局港湾振興部長」

「山口直彦・商船三井客船株式会社 常務取締役」

「山崎紀彦・郵船トラベル株式会社 執行役員 クルーズ部長」

5. 申込期限：3月11日（金）までとなっています。ご注意ください。

(海事振興部)

◆自動車の手続きはお早めに！

自動車の手続きはお済みですか？

引っ越しをして住所が変わったり、所有者等の名義が変わったり、使用をやめたときには、自動車の登録等の手続きが必要です。

正しく登録等が行われていないと、リコールの案内（車の欠陥に関する重要な通知）や税金などのお知らせが届かない、といった支障が生じるおそれがあります。

手続きのお問い合わせは、下記お知らせページの各運輸支局又は検査登録事務所へ。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2016-0225-kanri.htm
（軽自動車については、管轄の軽自動車検査協会へお問い合わせください。）

3月後半は、運輸支局等の窓口が大変混雑します。早めに手続きを行いましょう。

（自動車技術安全部 管理課）

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
